

- 1 会議名 全員協議会
- 2 日時 令和5年8月18日(金)
午前10時～午前11時26分
- 3 場所 第2・第3委員会室
- 4 出席議員 15名
- 5 出席者 市長 久保田桂朗、副市長 柴田義晴、教育長 野木森広
総務部長 中村定秋、総務部専門監 齋藤元英、健康福祉部長
長谷川忍、建設部長 片岡和浩、消防長 岡本康弘、教育こども未来部長 近藤玲子
秘書企画課長 秋田伸裕、同統括主査 小野誠、協働安全課長
小松浩、行政課長 佐野剛、同主幹 井手上豊彦、長寿介護課長
中野高歳、同主幹 浅田正弘、健康課長 原咲子、同専門員
城谷睦、同統括主査保健師 岡崎清美、学校教育課長 兼松英知、同主幹 酒井寿

6 事務局出席者 議会事務局長 丹羽至、同統括主査 寺澤顕

7 議長あいさつ

8 市長あいさつ

9 報告事項

(1) 愛知県後期高齢者医療広域連合議会の経過報告
選出議員 片岡議員：資料に基づき説明

【質疑】

なし

(2) 執行機関からの報告

① 9月定例会に提出予定の議案について

各部長：資料に基づき説明

総務部長：補正後の留保財源は現時点で約5億5千万円である。

【質疑】

木村議員：条例一部改正のうち、福祉医療に関する高額療養費に該当するかどうかの確認を個人番号で行うというものについて、健康福祉部長が発言した県への要望書について具体的に教えてもらいたい。

健康福祉部長：この件についてはすべての市町村が大きな影響を受ける。そのため、協会けんぽに対して既に、愛知県、名古屋市、政令指定都市から要望書を提出している。社会保障診療基金で代行を望む動きもあるが、思うようにいっていない。今回は愛知県内の全市町村から、改めて協会けんぽに対して今の運用を続けてもらうように要望活動をしている。そうすることで、市民の負担もなくなり、適正な給付もできると考えている。これ

は春日井市が中心で行っており、岩倉市も賛成し、要望活動につながると
思う。実現してほしい。

②岩倉市組織・機構検討委員会検討報告書について

秘書企画課長：資料に基づき説明

【質疑】

なし

③9月の敬老関係事業について

長寿介護課長：資料に基づき説明

【質疑】

なし

④健幸づくりサポーター事業について

健康課長：資料に基づき説明

【質疑】

梅村議員：保健推進員は令和6年度からなくなるということか。

健康課長：そのとおり。

梅村議員：児童館の健康体操などはなくなるのか、継続か。

健康課長：各地区で行っていたそういった事業を令和5年度で終了するのは
とてももったいないと思っている。推進員と相談しながら、続けていき
たいという声があれば、健康課として支援し、令和6年度からも続けたい。

水野議員：従来の事業の課題について一覧表のようなものはあるのか。ない
場合、作成予定はあるのか。また、健幸づくりサポーターは課題に対応し
ているのか。

健康課長：課題をまとめていたものはない。それぞれの事業等で課題は何か
というのは考えたりまとめたりはしている。健幸づくりサポーター事業を
展開していくことで、今まで以上に健康づくりが推進できると考えている。

水野議員：可能であれば、代表的な従来の課題の表があればありがたい。作
成予定はあるか。

健康課長：作っていききたい。

⑤新型コロナワクチン接種事業について

健康課長：資料に基づき説明

【質疑】

なし

⑥その他

(教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価の結果に関する報告書について)

学校教育課長：地方教育行政の組織及び運営に関する法律により、教育委員会は毎年その権限に属する事務の管理及び執行状況について点検及び評価の結果を議会に報告することとなっている。令和4年度の点検・評価について自己評価を行った。これに対して、7月20日と28日に岩倉市教育振興基本計画推進委員会評価部会を開催し、点検・評価を審議した。今後は結果と公表に関して、8月21日開催の定例教育委員会に議案として提出し、議会には9月定例会初日に報告書として配布を予定している。議会提出後は、広報いわくら10月号で公表について周知し、市ホームページや情報サロンで公表予定。

【質疑】

なし

(台風7号による市内の被害状況等について)

協働安全課長：資料に基づき説明

【質疑】

なし

(3) その他

なし

10 協議事項

なし

11 その他

なし